

# 愛知県ハンガリー友好協会会報

2011年11月号

## 《駐日ハンガリー大使をお迎えして

### 2011年度通常総会》

三苫民雄（愛知産業大学短期大学教授）

日時 平成23年10月24日（月） 18:30～21:10

会場 名鉄グランドホテル 「柏の間」

#### 1. 2011年度通常総会



寺西会長

通常総会は寺西学会長の挨拶に始まり、引き続き寺西会長に議長として議事を進めていただきました。議案は6つ用意され、①2011年度事業報告、②2011年度収支決算報告、③2012年度事業計画、④2012年度予算案、⑤2012年度役員案、および、⑥愛知県ハンガリー友好協会規約改正がそれぞれ審議され、了承されました。



#### 2. セルダヘイ・イシュトヴァーン特命全権大使講演

「ハンガリーのEU議長国任期中におけるEU-日本関係の進展」（大意）



セルダヘイ・イシュトヴァーン特命全権大使

2009年のリスボン条約成立後、ハンガリーは議長国として、EU各国がとるべき相互協力・協調姿勢をリードするという重要な役割を果たしてきました。その内容としては、①「強いヨーロッパ」を作るべく **European External Action Service (EASS)**を支えること、②ロマ[ジプシー]問題を初めとする複数国家にまたがる社会問題をヨーロッパ単位で解決するよう呼びかけたこと、③国際河川として利害関係の入り組むドナウ川流域の諸問題を、EUの地域協力・強調を象徴する問題として提起したことこの3点が挙げられます。

EU と日本の問題として議長国ハンガリーが中心となって押し進めてきたのは、3・11 東日本大震災に代表される天変地異・自然災害への対策・支援、自由貿易協定締結に向けての話し合い、政治的関係ではハイレベル実務者協議、あるいは中欧-日本間での協力協議などです。

経済関係では、今まで以上の交流・取引を推進するだけでなく、再生可能エネルギー開発の検討もなされてきています。また、各地の友好協会を中心とした草の根交流の重要性もあらためて強調しておきます。

今回の東日本大震災以来、日本はこれまでとは異なり助けられる立場に回りましたが、EU 議長国としてのハンガリーの役割は、EU-日本間の連帯を強めるものとして重要なものでしたし、今後も重要なものとなるでしょう。将来的には、未だ実現していないハンガリー国首相の日本訪問も視野に入れつつ、社会保障および文化・教育の面でもより一層の交流がなされることを期待します。

### 3. ミニ・コンサート

- ・リスト／“おお、私が眠るとき”
  - ・ ベッリーニ／歌劇『カプレーティとモンテッキ』より  
“私はこうして晴れの衣裳を着せられ・・・ああ！ いくたび”
- ソプラノ：中村真紀 ピアノ伴奏：富田智容子

客席からは思わずため息が漏れるほど素晴らしい歌声を息の合った伴奏と共に披露してくださいました。



富田さんと中村さん

### 4. 懇親パーティー

乾杯の発声は協会顧問の田中志典犬山市長に、また、最後の中締めの挨拶は藤谷宣之副会長にお願いしました。お二人とも各方面に心配りの行き届いた見事なスピーチで会を盛り上げていただきました。今年は自発的に全員の集合写真を撮影するなど、リラックスした楽しい会となったことを申し添えておきます。



顧問・田中志典犬山市長



チーラさん・アンドールさん・ジョルトさん



ハンガリー語講座の皆さん



司会・三苦理事



参加者全員を紹介しました



中締め挨拶・藤谷宣之副会長



刺繍イロンカ先生の記事にメッセージをくださる大使



理事の佐々木さんが沢山の写真を撮ってくださいました

## 《Petőfi Csarnok 蚤の市》

小村陽子(ブダペストにて)

9月24日(土)、ブダペストの市民公園にある Petőfi Csarnok での<蚤の市>に、友人と三人で出店しました。

この蚤の市は、ガイドブックでも紹介されているので、ご存知の方も多と思います。すでに何度も経験している友人から、誰でも出店できると、教えてもらった時には、何か大発見でもした様なワクワク感がありました。

今回は、出店3度目の私が、ご紹介したいと思います。

- ・ 出店者の入場料 (1グループ) 2000Ft と、テーブル使用料 1000Ft(運転免許証など身分証明書と引き換えにテーブルを貸与) が必要。  
予約は不要で、販売する品物を当日朝持参。
- ・ 買い物客は、大人、子供問わず一人 150Ft の入場料が必要。
- ・ 蚤の市の営業時間 土・日 8:00~14:00

いよいよ当日です。

今回も、前回出店した4月と同様、売上金は「東日本大震災の義援金」として寄付します。

朝7時過ぎに航空博物館前の駐車場で友人と待ち合わせ。



すでに、出店する人たちの長蛇の列が出来ていました。

場所を確保して、品物を出す前に、日本人(外人?)だとわかると、人だかりが出来てしまいます。

待って!待って!と言っても、「これは何?」「いくら?」「早く出して!」と品物を引っ張ったりして、全く聞き入れてくれません・・・(苦笑)



この日は、お天気も良く、大変な賑わいでした。

お客さんの第一波が引き、落ち着いてから、やっと品物も並べられて、義援金のポスターも貼れました。

私たちが出した品物は、不用になった衣類、靴、陶器、バッグ、手作りアクセサリやお手玉、手書きのイラスト、お菓子やお茶の缶、日本のお菓子の紙箱、紙袋などです。



きっと値切られる・・・と想定して値段を決めます。(手作り品は、下げませんが・・・)

今回は、小さな折鶴もプレゼントとして用意しました。

すぐにクチャクチャになるので、整理整頓は欠かせません。

お昼ごろ、やっと座れたね～



午後1時を過ぎて、会場を後にし、駐車場に戻る途中、大きな自転車の“Beer bar”が走っていました。

義援金のポスターを見て、値段よりも多くの金額を下された方や、プレゼント用の折鶴にお金を出してくださった方、

無茶な値切り方をしている人を諭してくださった方、私たちが出店するのを知って、かけつけて下さったハンガリー人達、いろいろな方々に協力していただきました。

蚤の市は、私達が不用品の整理をできる一方でハンガリー人には有効活用してもらえ、また、ハンガリー人との交流、日本文化の紹介、収益など、色々なメリットがあります。またいつか、出店するために、品物を溜めることになりそうです。

## 《セゲド大学留学を終えて》

大塚 奈美(トランシルヴァニア日本民俗文化センター代表)

8 か月間のセゲド留学とその前後のトランシルヴァニア滞在を経て、8月に帰国しました。セゲド大学在籍中は若い舞踊人類学専攻学生と一緒に学んだり、フィールドワークをしたり、国際セミナーに参加したりする機会を得ました。

帰国後、長野にて「第1回長野カロタセグ民俗文化キャンプ」を主催しました。自然豊かな長野でトランシルヴァニアの踊りや文化に親しむ催しで、愛知県や近畿地方からの宿泊参加者の方に加え、地元の方々とも交流することができました。同キャンプについては、新聞三紙に掲載されたほか、ブログ

(<http://transylvania-nihon.blogspot.com/>) や 10月28日発行の日本ハンガリー友好協会会報 No.145 でもご報告しています。

このキャンプをきっかけに、新たに「トランシルヴァニア日本民俗文化センター」として、今後も活動を続けていきます。中心メンバーとして活動を企画・実施していく意欲と熱意のある方を募集しておりますので、我こそはという方は [cifrakalotaszeg@gmail.com](mailto:cifrakalotaszeg@gmail.com) または 090-8488-2039 (大塚) までご連絡ください。

他にも今年初の試みとして、私の地元である瀬戸市国際センター主催の「交流フェスタ 2011in パルティセと」に参加し、ハンガリーやトランシルヴァニアの踊りと民族衣装や民芸品を紹介しました。気軽に参加できる踊りを数曲選び、参加者の皆さまと一緒に踊って楽しむことができました。



今後の予定としては、トランシルヴァニア日本民俗文化センターの企画として、トランシルヴァニア・カロタセグ地方のクリスマスと年末年始を体験する催しを予定しています。期間は2011年12月21日から2012年1月2日までで、この間のご都合のよい日数ご参加いただけます。厳寒のトランシルヴァニアでクリスマスの料理作りや聖歌行列、礼拝など、ハンガリーの伝統がトランシルヴァニアの農村でどのように実践されているのかを肌で感じることができ、これまでの参加者の方からも好評をいただいています。5年という節目を迎え、現地での文化体験に関しては、方法や内容などを再検討中で、現在のような形での企画は今回が最後となるかもしれません。興味のある方はぜひ一度ご参加ください。詳細については当センターのサイト (<https://sites.google.com/site/cifrakalotaszeg/>) をご覧いただくか、大塚までお問い合わせください。

## 《グヤーシュスープでクリスマス会》

恒例となっているグヤーシュスープでクリスマス会。お料理上手のロランドさんの指導で美味しいグヤーシュスープなどハンガリー料理を作って楽しみましょう！是非ご参加ください。

日時：12月18日(日)10:00～

会場：名古屋国際センター3F 第1研修室

会費：1,500円（中学生以下800円）

赤いパプリカが沢山収穫できました。

白にんじんもできてますよ。



## 《リスト生誕200年記念コンサート》

リストのお誕生日10月22日が過ぎ、リスト生誕200年記念年も後1ヶ月半となりました。皆様コンサートにはお出かけになりましたか？先日2台のピアノによるリストプログラムを聞きました。来週26日(土)には富田智容子さんのオールリストプログラムをととても楽しみにしています。コンサートに出かけられない方はテレビやFMでもリストプログラムはいっぱいですので楽しんでください。



2006年に設立10周年記念「リスト音楽院マスターコンサート」CDを制作いたしました。(録音：小牧市味岡市民センター)

2,000円→1,500円 ご希望の方は事務局まで。

演奏：ファルヴァイ・シャーンドル(ピアノ) オンツァイ・チャバ(チェロ)

サバディ・ヴィルモシュ(ヴァイオリン)

J.S. バッハ (リスト編)：プレリュードとフーガ イ短調 BWV543

ヴェチェイ：悲しい歌／ヴェチェイ：メヌエット シューマン (リスト編)：献呈

コダーイ：ロマンス・リリック ポッパー：いつかの美しい日のように／タランテッラ

ベートーヴェン：ピアノ三重奏曲 第1番 変ホ長調 作品1-1

### ※ 中日新聞掲載予定

中日新聞「ジュニア中日版」“地球の子どもたち”のコーナーにハンガリーの子どもたちを紹介する記事が載る予定です。11月27日(日)は犬山の子どもたちと絵画交換をしたセーケシュフェヘルヴァールのムンカーチ・ミハーイ小学校、12月4日(日)はブダペストの音楽学校、モルナール・アンタル小学校を予定しています。

内容については早稲田先生に協力していただきました。

### ※ 会報送付について

会報をパソコンメール pdf ファイル添付で送付希望の方は、[ambt@hotmail.co.jp](mailto:ambt@hotmail.co.jp)

(協会アドレス)まで、「会報 pdf ファイル希望」と送信してください。

なお、その場合はメール便では送付いたしません。